

さわらエコナビ通信

第2号・発行
 平成18年8月30日
 早良区生活環境課
 TEL: 833-4341
 協力
 早良区ごみ減量・リサイクル推進連絡会議

利用者増えています！

- 校区紙リサイクルステーション -

古紙などの資源物を回収する地域の拠点、校区紙リサイクルステーションの利用が増えています。

昨年十月の家庭ごみの有料化の影響もあり、古紙などの持ち込みが増加。

西新校区では、校区ごみ減量・リサイクル推進会議(田中共仁子会長)の皆さんが管理され、利用者に対し古紙の持ち込み方などを指導されています。

担当されている皆さんは、二年目になります。段ボールなどの持ち込みが増えています。国道沿いで地下鉄に面した便利な場所です、人気もあります。ただ、一部に新聞・雑がみ(雑誌類)、段ボールの分別が不十分のまま持ち込まれるケースもあります。梅雨時期

や、夏の炎天下での分別のやり直しは大変です。古紙は必ず種類別に分け、ひもで十字に結んで持ち込んでください。」と利用者のマナーアップも呼びかけられています。



七月二十二日担当の古賀さん(右)と磯村さん。暑い一日でした。

校区紙リサイクルステーションの設置場所は次の通りです。紙以外の回収品目は、各ステーションの掲示板が

生活環境課へ。

校区紙リサイクルステーション一覧表

設置場所	開設時間	設置場所	開設時間
西新公民館南	土・日 9時～17時	次郎丸中公園	土・日 9時～17時
百道公園	土・日 9時～17時	賀茂小南東門横	土・日 9時～17時
高取公民館	毎日 9時～17時	田隈公民館	月～金 9時～16時 土・日 10時～17時
室見庄浜公園	土・日 9時～17時	田村公民館	土・日 9時～17時
原公民館	毎日 9時～17時	野芥公民館	毎日 9時～17時
大原公民館横	毎日 9時～17時	四箇田公園	水・土・日 9時～17時
小田部小 西側公園横	水・土・日 9時～17時	入部小横	土・日 9時～17時
飯倉中央小正門南	毎日 8時～夕暮れ	内野公民館	水・土・日 9時～17時
飯原小東門横	土・日 9時～17時	早良公民館	毎日 9時～17時
鏝田児童広場(飯倉)	土・日 9時～17時		

はがき出来たよ

環境教室で紙すき体験

区では三月二十九日、子どもや保護者などを対象に、環境教室(牛乳パックで紙すき体験)を早良市民センター実習室で開催しました。

参加された十二人の皆さんは紙す

きは初めて。紙の歴史やリサイクル・紙すき方法の説明後、早速作業を開始しました。

三層で出来ている牛乳パックの真ん中が紙。これを水に溶かしパルプを作ります。あらかじめ浸しておいたパルプを更にミキサーで数分間かくはん。好みに応じて折り紙などをちぎり模様をつけます。出来上がったパルプからいよいよはがき作りです。水切り



牛乳パックはがそう

用の木枠でパルプをすくい上げ、アイロンで乾かして完成。色紙などをちりばめた可愛らしいはがきも出来ました。

「勉強になりました」「たくさんの

人に経験してもらいたい。「牛乳パックを細かくするところがすこかった。」などの感想があり、楽しい環境教室となりました。

地球共同体の一員に！

「今できること」環境講座開く
飯倉公民館

飯倉公民館（松田廣幸館長）は、五回シリーズの「飯倉環境講座」を開いています。五月二十四日の第一回目



は、NPO法人フューチャー5000の理事長、木内孝さんを講師に迎え「地球環境について」の講演を行いました。木内さんは福沢諭吉・岩崎弥太郎さん

のひ孫で、大手電機メーカー取締役当時から、健康と環境に配慮する新しい生活様式『LOHAS』を提唱。国内外での講演やワークショップなど忙しい日々を送られています。今回は「経済大国の次に何を創るか」地球共同体の一員として生きるをテーマに話されました。（写真）
日本は、景気やGDP（国内総生産）の話ばかりしている時ではない。

科学的に見ても、二十世紀後半の経済成長は続けられない。自然の生態系は人類の活動で衰退傾向にあり、環境保護コストを経済システムに反映していくライフスタイルが必要である。

これからは「儉約」「健康」「謙虚」を心がけ、地球共同体の一員として生きる。日本は足るを知る市民社会を築き、人も羨むような「緑の国土」「安全な社会」暮らし良い「生活の国」に、と願いを込められました。

環境への関心高まる

古紙問屋 リサイクルプラザ

大原校区施設見学会

大原校区環境衛生部会（松浦莊司部長）は、六月十三日、大原校区施設見

学会を行いました。雨交じりで時折太陽がのぞく一日でした。校区の皆さん約二十人が西区にある古紙問屋、西部リサイクルプラザ、海水淡水化センターを見学しました。

古紙問屋では、地域集団回収で回収



集まった古紙は大切な資源です

された紙類などが選別・圧縮される過程などを見学。西部リサイクルプラザでは、施設の説明を受け、衣類のリサイクルなどを見て回りました。海水淡水化センター（まみずピア）では、最新の逆浸透技術の説明後、水道水の飲み比べ。皆さん興味津々でした。

自治協議会長の須崎壽生さんは、地域にできることは地域で取り組む。環

境を守ることも同じです。施設見学会はいい勉強になりました。」と話していました。

お知らせ



資源物回収量10%増加

平成十七年地域集団回収等の資源物回収量をお知らせします。

早良区では平成十七年に約6264トンの資源物が回収され、一世帯当たりでは約72kgとなります。平成十六年に比べ、10%増加しています。また、福岡市全体より約13kg多く資源物を回収しています。

区	資源物回収量(トン)	kg/世帯	前年比
早良区	6,264	71.7	10%
東区	8,503	70.1	13%
博多区	3,470	32.9	11%
中央区	3,520	36.6	13%
南区	7,641	69.8	8%
城南区	3,619	58.8	7%
西区	5,335	77.2	7%
福岡市	38,352	58.9	10%

各区回収状況（平成十七年）